





<令和6年度1学期 児童アンケート結果と今後に向けて>

	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B 評価	R5 前期	R5 前期との比較 増減5%以上
1	学校に行くのが楽しい。	68.8	25.0	6.3	0.0	93.8	85.7	
2	家庭学習(宿題をふくむ)の時間をまもって取り組んでいる。	72.9	22.9	2.1	2.1	95.8	89.8	
3	家の人と、学校や友だちのことを話す。	68.8	22.9	6.3	2.1	91.7	83.7	
4	生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を守って生活している。 寝る時刻 12年…9時 34年…9時30分 56年…10時	56.3	35.4	6.3	2.1	91.7	83.7	
5	家庭では、テレビ・ゲーム、インターネット、メール、SNS等を使うとき、ルールや時間を決めている。	68.8	20.8	6.3	4.2	89.6	89.8	
6	物事に進んで取り組み、最後まであきらめずにやりぬいている。	72.9	22.9	2.1	2.1	95.8	87.8	
7	授業は、楽しい。	72.9	25.0	0.0	2.1	97.9	85.7	
8	授業は分かりやすい。	77.1	20.8	0.0	2.1	97.9	95.9	
9	授業では、友達と話し合っていることができる。	70.8	22.9	4.2	2.1	93.8	93.9	
10	健康や安全に気をつけて行動している。	0.8	25.0	2.1	2.1	95.8	95.9	

【今後に向けて】

・多くの項目において、昨年度同時期と比較すると、大幅な上昇が見られました。保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。項目7「授業が楽しい」について肯定的な回答が多く、学校全体で「児童が主役の授業づくり」に取り組んだ成果を感じています。また、児童が自分自身のことを肯定的に捉えており、自己肯定感の高まりも見て取ることができます。

・ほとんどの項目において、A+B評価が9割を超えていますが、項目5(家庭でのメディアに関するルール)、項目3(学校や友達についての会話)、項目4(生活リズムの定着)が全体からみるとやや低い数値であり、保護者アンケートと同様の傾向にありました。項目4、5については、学校でも保健指導や生徒指導、家庭科や体育科の授業等を通して、規則正しい生活の大切さや、メディアとの上手な関わり方について指導していきたいと考えています。

・項目1「学校に行くのが楽しい」について、6.3%の児童がC評価の回答をしています。学校だからこそ、友達や先生と一緒に過ごすからこそ「楽しさ」を感じられるように教育活動について創意工夫するとともに、児童の様子を丁寧に見ていくことも継続していきます。何か悩み事や心配な事がありましたら、学校にお知らせください。保護者の皆様と連携しながら、迅速に対応していきたいと考えています。

